

提携先	みえぎょれん販売株	記入日	2008/8/29
登録消費材名	あおさのり、味付のり、焼きのり、伊勢のり、乾燥めかぶ(カット)、焼海女のり、焼伊勢のり、		

．これまでにも努力してきたことや、生産条件の限界性など

クレームを 0 に近づけるため、以下の項目に分け実行した。 印字の誤り 作業所壁面に大きく製造日と賞味期限の表示をした。 味付のりの乾燥度合い向上対策 除湿機能付熱風乾燥機の導入。 異物混入防止 味付のり、焼きのりは新機種 of 異物形状検出機を導入。 青さのり、焼海女のりは目視選別の回数を増やす。ただし、素材の形状が不特定で手作業が伴う目視選別に頼らざるを得ず、回数を増やしすぎると経費がかかることに加え材料が粉々になってしまう。また、機械化できない所にある程度の限界がある。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

味付のりの味付け乾燥仕上がりの向上(パリパリ感)に付いて、除湿機能付熱風乾燥機を導入したところ、食感に対するクレームの報告が 0 であったことに加え、加工に対する従業員の意識高揚に成果があったと思われる。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

三重 HACCP にチャレンジし達成すること。

提携先	みえぎょれん販売(株)	記入日	2008/8/27
登録消費材名	ゴマ製品、ふりかけ、お茶漬け、顆粒和食だし		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

ゴマ製品全般として、世界的にゴマ原料需給バランスが大きく崩れたことにより、良質な原料の安定的確保が年々難しくなっており、それを達成するためには調達コストアップは避けられない状況の中、商社と協同して南米の産地を育成してきた。然しながら世界中から南米にもバイヤーが入るようになり、価格的な競争が熾烈となってきたため、製品への価格転嫁をせざるを得なかった。

ふりかけ等につきましても、原料、資材、加工賃等あらゆる項目がコストアップ要因となっており、製品への価格転嫁をしなければ赤字となってしまうところまで状況は悪化してしまいました。購買担当も購入先からの値上げ要請を受けざるを得ない急激な変化であるため、対応せざるを得なかった。

そのような環境の中においても品質の維持は必須と考えますので、品質管理部門においては引き続きクレーム削減の為に生産部門と連携して活動を強化している。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

品質管理部門によって、味覚センサーを導入してゴマの味の測定方法の確立を模索し、味を数値化し真誠スタンダード品の確立も目指しましたが、機械の性格上困難との結論に至り、ゴマの劣化品の数値化に方針転換しました。ゴマの味による劣化疑いのクレームはよくあり、それを数値化できるかに腐心した結果、ある程度の傾向値をつかむことができた。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

品質管理部門は味の数値化について少し前進がみられたので、引き続き理化学的な管理手法の確立を目指していく。生産部門の目標として、顧客/社内クレームの削減(85件68件)。購買部門の目標として、ゴマ原料以外の社内発見購入原料事故件数を減少(36件28件)

提携先	みえぎょれん販売株	記入日	2008/8/30
登録消費材名	混合削り節、かつお本節、かつお細削り、かつお厚削り、パックだし、パックだしかつお		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

<p>異物混入対策</p> <p>作業場内への昆虫の進入防止策として、現在までに嫌虫灯、電撃捕虫器、粘着捕虫器、エアカーテン、ビニールカーテン等で対応してきたが、より厳重に防止するために、2004年7月から原料搬入口と製品出荷口を二重構造(増築)に改良する。</p> <p>これまでは作業者の衣服に付着している可能性のある頭髪等の異物を除去するための対策として、粘着ローラー、鏡等を利用するとともに、2005年1月から出入り口二箇所エアシャワーを設置する。</p> <p>2008年5月、手洗い場の蛇口を自動にする(トイレ三箇所、作業場入り口二箇所)とともに、作業場入室の際、手指消毒のためのアルコール噴霧装置を2台設置する。</p> <p>環境について</p> <p>行政、地域等主催の清掃活動運動に積極的に参加するように社員に奨励。</p> <p>社員の家庭での石鹼使用の促進。</p> <p>節加工で使用する薪から出る煙を極力少なくするために、6ヶ月位かけてよく乾燥させたものを使用する。</p> <p>薪を燃やして出る灰を、土壌改良剤として地域の農家に利用してもらっている。</p>

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

<p>作業場内への昆虫の侵入防止策として二重構造にした結果、2004年度1年間で約19%の防除ができた。</p> <p>エアシャワー設置後3年8ヶ月が経過したが、毛髪等の異物混入はない。</p> <p>薪の灰を土壌改良に利用したことにより、作物の生育が良くなり収穫量が増えたとのことで、利用者が例年より増えた。</p>

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

<p>防虫対策や異物混入対策として、今後も引き続き新たな方法を多方面から考えていくとともに、従業員への指導、教育を強化していきたい。</p>
--

提携先	みえぎょれん販売(株)	記入日	2008/8/27
登録消費材名	青のり粉 10g 袋詰め・瓶詰め		

．これまで努力してきたことや、生産条件の限界性など

青海苔は原料の収穫時に様々な異物を取り込んでしまうため、選別作業が非常に困難な原料です。異物の選別除去に関しては最大限の努力をしていますが、引き続き努力が必要と考えております。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

昨年の生活クラブ向け製品においての異物混入事故は原料由来の物も含めゼロでした。弊社全体としては、残念ながらゼロではありませんでしたが、近年の異物選別除去の成果はある程度評価できる物と思われまます。しかし、昨年はシール不良の事故が数回発生してしまいました。検品体制を見直し今年度再発を未然に防ぐ事を課題といたします。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

引き続き、異物混入事故ゼロを目標とします。又、新たに、シール不良などの生産時に発生する事故をゼロにすることを目標とし努力いたします。